

育成人材が活躍できる仕組みづくり ～げんさい未来塾～

岐阜県岐阜市清流の国ぎふ 防災・減災センター 副センター長 小山真紀
(岐阜大学高等研究院地域減災研究センター センター長)



近年では、毎年のように大きな災害が発生しています。防災対策や災害時の地域内の自助・共助の活動では、地域の防災人材の活躍が期待されています。このような背景から、防災リーダー育成講座などの、各地の行政や大学などで地域の防災人材育成のための取組が行われています。入門的な防災人材の民間資格である防災士の登録数も29万3,016人(2024年8月現在)に上っています。

その一方で、「多くの講座は、修了後に受講者が主体的に防災活動できるほどのレベル設定になっていない」「講座を受講した後、育成された人材の活躍の場がない」ため、講座の開講が地域の防災活動促進に必ずしもつながっていないという問題があります。私たち、清流の国ぎふ 防災・減災センター(以後センターと呼称)が開講している「げんさい未来塾」は、この問題を解決するため、「実際に動けるレベルの人材を育成する」ことを目的として2016年度からスタートしました。現在は、これに加え、「育成人材が活躍できる場を作る」ことも進めています。

「げんさい未来塾」は、①防災活動をする

ための基本的なスキルに関する講座、②受講者自身の持っている防災課題について主体的に取り組む、③センター主催の講座やイベント、センター教員やコーディネーター(4名の、すでに一線で活躍されている方)が関わっている講座やイベントに、お手伝いとして参加しながら学ぶ、という3つのプログラムから構成されている1年間のプログラムです。このうち、①はコミュニケーション、プレゼンテーション、ファシリテーションや計画立案など、地域の防災活動、啓発活動の際の基本的なスキルに関する研修と、その時々ニーズに応じて実施するステップアップ的な研修になります。②はご自身取り組みたい課題(〇〇地域の地区防災計画を作成したい、自社の防災力を上げたいなど)について実際に取り組みます。センター教員やコーディネーターがスーパーバイザーとして伴走支援することで、目的に対して実際の活動をどう組み立てたらよいか、ということ学びます。③では、多様な取り組みに参加するため、幅広い知識・スキルの獲得、時代に応じたの情報や価値観のアップデートを行うこ



とができます。防災リーダーとして身につけてほしい観点とレベルを表1に掲載します。げんさい未来塾のレベル設定は、この表のレベル2から3となっています。

げんさい未来塾の1年間の受入れ人数は3から10名ほどですが、2023年度までに54名の卒塾生（物故者除く）がおり、殆どの方が継続して活動されています。活動の場を広げるため、センター主催の防災リーダー育成講座のお昼休みに、塾生が自主的におまけ講座を実施したり、センター主催講座で塾生に講師として登壇してもらったり、外部からの講師派遣相談があった際にはスキルに応じて塾生を講師として紹介したりしています。2023年度からは、岐阜県各課の防災に関する事業において、塾生との協働を呼びかけており、避



難確保計画の伴走支援事業や外国人防災リーダー育成講座など、多様な部局の取り組みでも活躍が進んでいます。

塾生の活躍をさらに促進するため、facebookのメッセージグループで塾生同士の情報共有を可能にしたり、メーリングリストで各地の防災イベントや勉強会の情報を相互に発信できるようにしています。また、センターホームページでは、卒塾生の活動リストや活躍コラム、県や市の防災事業での活躍状況などを公開することで、どんな活動に協働できるかのイメージを持ってもらいやすくしています。実際に、このホームページを見て塾生に講演依頼の相談が来たりもしています。

実際に動ける人材づくりのためには、必要なスキルなどのレベル設定を明確にして、かつ、活躍できる場や機会も合わせて作っていくことが大事です。みなさんも活躍できる人づくりを進めていきませんか？

※本プログラムは実践的な人材育成と育成人材の継続的な活躍が認められ、第10回ジャパン・レジリエンス・アワードのグランプリ会長賞を受賞しました (<https://www.resilience-jp.biz/wp-content/uploads/2024/08/b0efa0e778d0f64dff6acdd1ada96e0a.pdf>)。

	レベル1	レベル2	レベル3
	良きフォロワー	マニュアルがあれば動ける	自分で考えて動ける
スキル	防災知識をもち、主体的に行動できる	防災減災活動の基本的なスキルを持っている	防災減災活動の応用的なスキルを持っている
人材育成	防災知識を他者に伝える事ができる	防災減災活動を行う人を育てることができる	人材育成のためのプログラムの開発ができる
ネットワーク	顔の見える関係を構築できる	関連する組織と組織、人と人をつなぐことができる	関連する組織や人と協働して活動する事ができる
企画・立案・実践	条件（シナリオ）を与えられればできる	条件（シナリオ）を与えられなくてもできる	平時から災害時までを通した防災減災対策の企画・立案・実践ができる

表1